

高校ハンド九州選抜県予選

ハンドボールの第35回琉球新報旗争奪九州高校選抜大会県予選最終日は16日、八重瀬町東風平運動公園

那覇西V後半一気

女子

女子那覇西が堅守で頂点に立った。勢いのある浦添商に気おされて11-11で折り返したが、

スポット

4年ぶり11度目

堅守速攻 主導権握る



女子決勝 那覇西-浦添商 前半、那覇西の上地汐杏蘭がシュートを放つ(東風平体育館(金城健大撮影))



女子優勝の那覇西

たした。女子決勝の那覇西は堅守が機能し、浦添商を22-13で破って4年ぶり11度目の頂点に立った。

浦添商を含む4校は来年2月に熊本県で行われる九州地区予選に出場し、3月に千葉・埼玉両県で開催される全国大会への出場権を懸けて戦う。

興南	32	17	15
女子決勝	11	11	22
浦添商	22	13	11

選手8人で準V

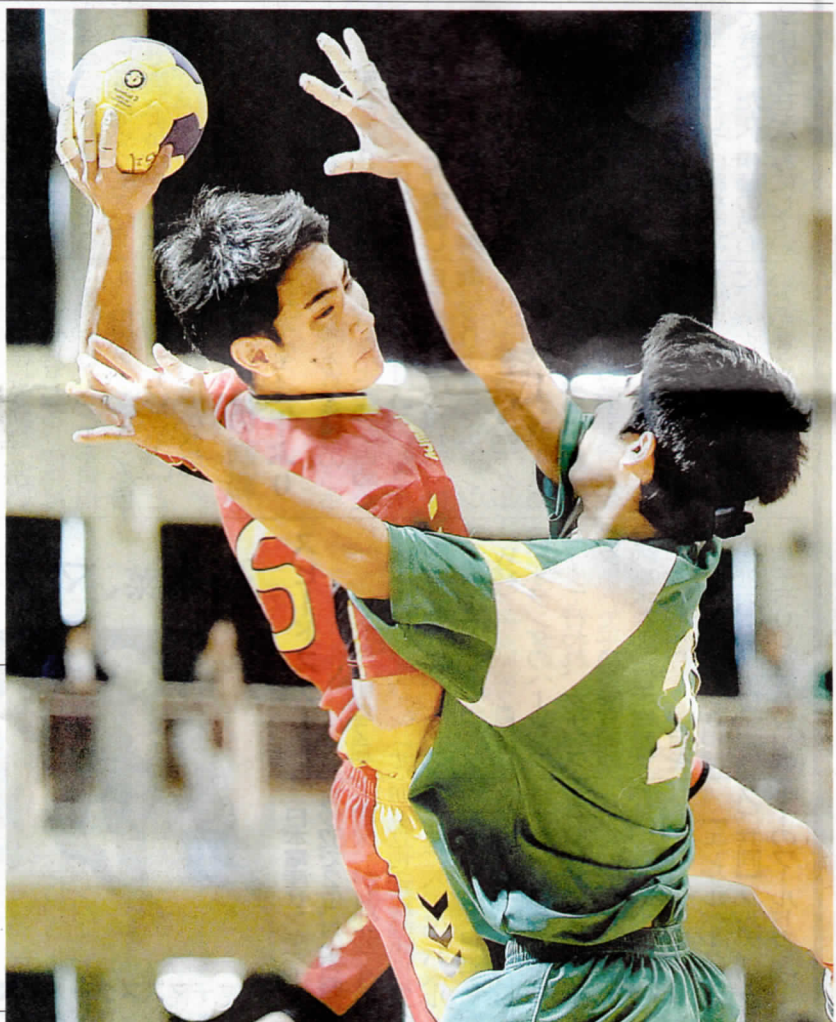
女子浦添商

女子浦添商は3年生12人が抜け、控え1人の8人と薄い選手層の中で準優勝と結果を残した。

接戦の準決勝を制した勢いで臨んだ決勝は、中長距離のシュートがきいて一時8-4とリードするなどの優位に進めた。

後半は一転、那覇西の高い守備ラインにゴールを奪えなくなった。玉城晴美監督は相手は当たりが強く、得意な走るハンドをさせてしまったと悔やむ。

野底夢美主将は「選手8人で、まさか決勝まで進めるのは持っている。自ら判断してゲームをつくる力をもっと育てたい」とチーム力アップを誓った。



男子

興南、貫禄の連覇 個人技光り波に乗る

男子興南は高い個人技を發揮し、コザを32-22と危なげなく破って連覇を果たした。スロースターターのチームながら3連続得点で先行。後半も速攻で得点を重ねて波に乗った。選手は喜んだものの「あくまで通過点」と気を引き締めた。



男子優勝の興南

男子決勝 興南-コザ 前半、興南の池間飛勇がシュートを放つ

男子優勝の興南